

# 生きるっておもしろい



ロビーコンサートで司会をする様子



市内の行事を油絵で描いている。娘と一緒に油彩展を開いた事もある



## ロビーコンサートで

芸術文化ホールで毎月開かれるロビーコンサート。演奏の前に、あいさつをして会場を和ませている人がある。花ホールスタッフの会員・宇田川留美子さんだ。季節に合わせた言葉をユーモラスに話す。

「花ホールの仕事は舞台進行の補助や入場案内など、いろいろな作業を覚えられるし、何よりお客さんと触れ合えるのが楽しいです」。これは宇田川さんの活動の一部。文芸協会会員や合唱団の団員、北広島美術協会会員など、いくつもの顔を持っている。

## 地域に関わって

北広島に住んで約40年になった。家の前には緑が広がり、庭作りをしながら、野鳥を眺められる抜群の環境が気に入っている。4人の子どもを育てながら子育て支援や

## 文化活動に力を注ぐ

### 宇田川 留美子さん

うだかわ・るみこ  
里見町在住。  
母子保健推進員や男女共同参画情報誌の編集委員、地域公共交通活性化協議会委員、北広島市総合計画委員、北広島市PTA連合会会長など、まちづくり活動に参加した経歴を持つ。駅周辺まちづくり委員会のメンバーとして芸術文化ホールの設立などに尽力した。特技を生かし文芸や合唱、美術などの分野で活躍中。

まちづくり活動に積極的に参加。母子保健推進員は10年以上務めた。

「子どもたちを育てた経験が少しでも役に立てばと始めました。子育ての大切さを広め、悩んでいる親の力になりたかったからです」。

子どもの学校のPTA活動にも熱心に関わり、中学校では会長も引き受けた。「子どもから大人に近く心配な時期だったので、よりいっそう学校と関わろうと委員になりました。楽しくて、まったく苦ではありませんでした」。

親が楽しんで生きていくと、子どもは人生に夢が持てる。そう信じて活動してきた。

## 思いを文章に

父親が新聞記者だった影響もあって、文章を書くことが大好きだ。5年前には、新聞に投稿した文などを「生きるっておもしろい」と題したエッセイ集にまとめた。「私の宝物ですよ」と、本を手に笑顔



で話す。夫婦で登山と旅行を楽しんだことや子育ての思い出、思わず笑える失敗談など。読みやすく、ほのぼのの心に染入る作品が収められている。

北広島市文芸協会に所属し、「文芸北広島」の編集委員をしている。ちようど取材したときは、最新号編集の締め切り間際で、原稿の確認作業を何回も繰り返していた時期だ。「会員の皆さんの力作を、多くの方に読んでもらいたいですね」。

## 楽しく生きる秘訣

バイタリティーあふれる宇田川さんの元気の源は何か聞いた。「迷惑にならないことなら、やりたいことを何でもやる。そして嫌なこととは、ため込まないことです」。いつか、もう一冊本を作りたいと夢を語る。

年齢を重ねても楽しく面白く生きる。その秘訣を、これからも発信してほしい。